

# 1. ま え が き

土木学会は、社団法人鋼材倶楽部より昭和52年4月に「鋼製サイロに関する調査研究」の委託を受け、研究活動を行うこととなった。

活動のための組織として、鋼構造委員会鋼構造進歩調査小委員会の下に、鋼材倶楽部代表委員も加えた鋼製サイロ班を設けた。

土木学会が鋼製サイロの調査研究を行うに至った動機は、米国での鋼製サイロ破損事故のニュースであり、日本にも多数のサイロが建造されているが、土木工学的な基準が存在せず、荷重とか材質、許容応力等何らかの規定が必要と判断したからである。

初年度である昭和52年度は、まず、国内外のサイロに関する文献を主体に調査研究を実施した。

今後は、今年度の調査研究を基に、設計・施工指針等のための基礎資料を得るために重要ないくつかの問題点の調査研究を実施する予定である。

昭和53年3月31日

土木学会鋼構造委員会  
鋼構造進歩調査小委員会  
委員長 前田幸雄